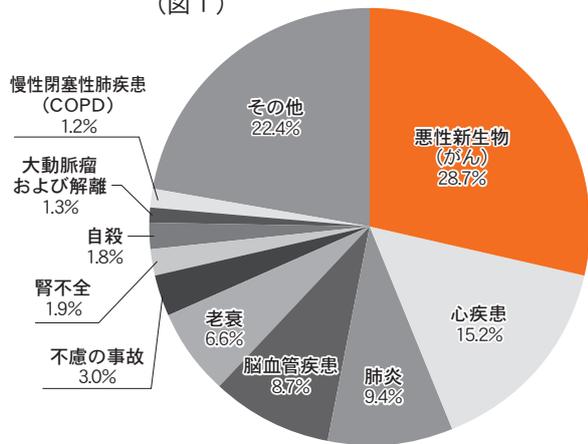


# がん検診を受けましょう

あなたの健康は家族の元気！自分で守ろう自分の健康

がんは、患者数、死亡数ともに増え続けています。  
しかし、**がんは早期治療することで治る病気**であることをご存知でしょうか？  
町の保健師が、がん検診の大切さをお伝えします。

主な死因別死亡数の割合(平成27年)  
(図1)



ないと思いますか？

男性では、3人に2人ががんと診断される計算になります。みなさんはこの数字を多いと思いますか？少ないと思いますか？

断される人の割合は、男性で63%、女性で47%です。

日本では、生涯のうちにかんと診断される人の割合は、男性で63%、女性で47%です。

みなさんご承知のとおり、がんは

「自分だけは大丈夫！」

**2人に1人は、がんと診断  
3人に1人が、がんで死亡**

**重要なのは・・・  
早期発見・早期治療**

医療は日々進歩しています。その

おかげで、早い段階で発見して、治

療を開始すれば、完治する確率も高

くなります。もちろん、体への負担

も医療費も少なくて済みます。

また、早期にがんを発見できた人

は、生存率が高くなる(図2)ことは

ご存知だと思いますが、検診でがん

を発見できた人は、検診以外でがん

を発見した人に比べて生存率が高くなることも明らかになっています。

がんは、年齢性別には関係なく、

誰もがかかる可能性のある病気にな

ってきました(図3)。しかし、初

期のがんには自覚症状がないため、

「症状がないから大丈夫」と思ってい

るうちに、症状が進行していること

も少なくありません。

では、どうしたら早期発見できる

のでしょうか？それには、定期的に

検診を受ける以外方法はありません

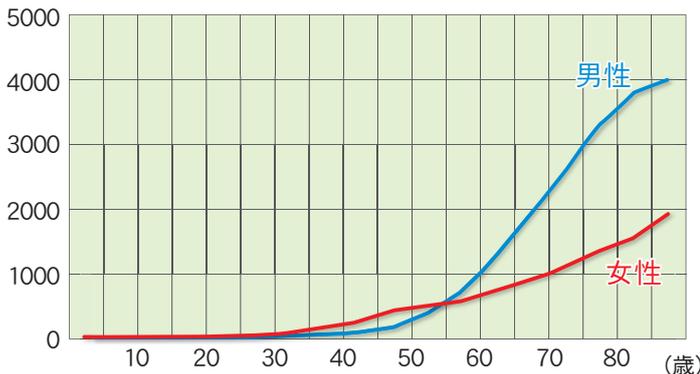
！町の平成27年度の検診では、受

診者のうち10人にがんが見つかり、

治療を始めるきっかけとなってい

ます(図4)。

(人口10万人対) (図3)がん罹患率～年齢階層別による比較～



(出典：国立がん研究センターがん情報サービス)

(図2)部位別・ステージ別5年生存率(%)

